

【別紙】 令和7年度 学校自己評価重点目標シート (川口市立東中学校)

(A4判横)

学校教育目標	○よく考える生徒 ○心豊かな生徒 ○心身ともに逞しい生徒 ○勤労奉仕の心をもつ生徒
目指す学校像	生徒・保護者・地域と信頼し合える学校

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

出席者	
学校関係者 (教職員を除く)	7名
事務局 (教職員)	3名

学 校 自 己 評 価						
領 域	年 度 目 標			年 度 評 価 (令 和 8 年 2 月 1 2 日 現 在)		
	現状と課題	重点目標	具体的方策	重点目標の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
組織運営	○全学年、授業に真面目に取り組 み、落ち着いた学校生活を過ごして いる。また、学校行事等にも積極 的に取り組んでいる。学校関係者か ら、満足いただける教育実践を展 開していく。 □教職員の働き方改革を推進して いる。勤務時間外在校等時間を縮 小し、質の高い教育実践を行って いく。	○生徒・保護者・地域との信頼関係を構築 し、充実した教育活動を実践する。	○教職員と生徒・保護者・地域が連携でき る関係を築くため、情報共有をしっかりと行 い、互いが納得できる教育活動を行う。	○学校評価において、生徒・保護者から概 ね達成といえる評価をいただいた。	B	・教職員と生徒・保護者・地域が連 携できる関係を築くため、今後も情 報共有をしっかりと行うとともに、共 有認識に基づいた教育活動を行って いく。 ・教職員の働き方改革については、 今後も保護者・地域の方々の協力を 得ながら実行していく。
		□教職員が笑顔を決やらず、意欲に満ちた態 度で教育活動を実践する。	□保護者・地域の協力を得ながら、働き方 改革を推進し、笑顔を決やすことなく教育 活動が実践できるよう負担軽減していく。	□日課の変更を行うとともに、学校教育活 動も予定通り実行できた。教職員の時間外 在校等時間も縮小できてきた。	C	
教育課程	○「個別最適な学び」「協働的な学 び」を一体的に充実し、「主体的・ 対話的で深い学び」の実現を目指 しているが、更なる研究が必要であ る。 □教室での授業に参加できない生徒 に対する学習支援が必要である。	○学校研究テーマを「聞いて実践する力の向 上」とし、授業改善を行いながら生徒の学力 向上につなげていく。	○校内研修をはじめとする各種研修を実施 し、好循環のPDCAサイクルにつながる よう、授業改善を実施する。	○「聞いて実践」を研修テーマし、学校全 体で指導・支援を行った。学校評価も概ね 達成できたといえる評価であった。	B	・「個別最適な学び」「協働的な学 び」を一体的に充実し、「主体的・ 対話的で深い学び」の実現につい ては、引き続き学校全体で取り組んで いく。 ・「ほっとルーム」利用者が増えた 点はよかった。引き続き、様々な手 段を講じて、学習支援を実施してい く。
		□教育相談体制を軸に、支援が必要な生徒へ の適切な教育支援を実施する。	□GIGA配信による学習、学習支援ソフ ト、学習プリント等による支援を行い、学 習成果の見届けまで確実に実行する。	□学習支援についての準備等はできる限り 行った。しかし、学習成果の見届けの部分 は不十分であった。	C	
開かれた学校づくり	○迅速な情報発信を行うために、 ホームページや家庭用連絡アプリ、 緊急保護者メールを活用している。 □新郷地区で子どもを育てていくた め、小学校4校・中学校2校で連携 を行っている。	○学校からの情報が確実に保護者・地域 の方々に伝わるように、各種手段を用いて情報 発信を行う。	○保護者への連絡については、家庭用連絡 アプリ・緊急時メールを活用し、地域 の方々へはホームページを活用していく。	○学校からの情報発信は、様々な方法を用 いて、迅速に行えた。	A	・今後も様々な手段を講じて、迅速 かつ正確な情報発信を行っていく。 ・地域で子供たちを育成していくこ とを意識し、学校間の連携を強化し ていきたい。
		□各学校の現状や課題を共有し、地区でま まりのある指導を行い、子供たちを育成して いく。	□学校間による授業交流・定期的な会議を 実施し、統一感のある指導を実施してい く。	□小・中学校の連携は、定期的な会議を行 うとともに、合同研修とも行うことができ た。	B	
教職員の資質向上	○教員として、キャリアに応じた授 業力が求められている。校内・校外 における授業参観等を通じ、授業改 善を実施していく。 □教育公務員として、信頼される教 職員であることは、何よりも学校教 育には必要である。そのための研修 を行っている。	○生徒の義務教育終了後の進路実現に向け 、必要な知識等を育成できる授業実践を行う。	○教科内における指導方法を検討するとと もに、お互いの授業参観、他校の実践を参 観し、授業改善を実施していく。	○研究テーマによる共有認識をもち、教科 の特性を感じる授業の実施が行えた。	B	・教職員のキャリアはさまざまであ るが、指導方法の一部を共有にし たりすることで、生徒にとってわか りやすい授業実践を今後も行って いく。 ・教職員事故0は、生徒、保護者、 地域の方々との信頼関係を構築す るうえでもっとも大切である。引き 続き取り組んでいく。
		□教職員事故0を実現し、信頼される教職員 集団とする。	□規範意識の醸成のため、定期的な研修を 実施し、勤務に対する意識をもたせてい く。	□規範意識・勤務規律を意識して勤務でき た。	B	
施設・設備等の管理	○タブレットを活用した安全点検を 月1回実施しており、修繕の必要な個 所について、優先順位を決め、早期 対応で補修している。 □大規模な修繕が必要な個所もあ り、教育委員会と連携し、修繕して いく必要がある。	○学校施設に関する事故0を実現し、安心・ 安全な学校生活を実現する。	○タブレットを活用しての安全点検を実施 し、映像等による確認を行い、早期の補修 へつなげていく。	○毎日の点検、定期的な点検などにより、 安心・安全な学校生活を行えている。	A	・施設設備に関しては、迅速に対応 できるものは、今後も引き続き修繕 していく。 ・大規模修繕については、教育委員 会との情報交換をこまめに行い、計 画的に修繕していく。
		□避難場所としての機能が十分発揮できるよ う、老朽化による大規模修繕について教育委 員会と連携していく。	□外部点検による点検結果等も活用し、必 要な修繕を確認しながら、教育委員会と連 携していく。	□老朽化に伴う大規模修繕については、教 育委員会と連携できている。	B	

学校関係者評価	
※実施日	令和8年2月17日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
・特になし	
・特になし	
・特になし	
・【意見】居場所づくりが大切。町会でも居場所づくりを考えている。また、協力をお願いしたい。	
・特になし	
・【意見】地域社会づくりが大切であり、地域も開かれたものにしていく。	
・特になし	
・特になし	
・【質問】老朽化に伴い、急を要するものはあるか。 →【回答】教育委員会と連携しており、大丈夫である。	